

# 基礎学力コンテスト 2020春 新小5理科 出題範囲

はんい



テスト範囲 (はんい) 気になる言葉やわかりにくいものは、学校の教科書でも調べてみましょう。  
 アゲハの一生…すがた、かたちの変化 ⇒ 写真をおぼえ、ようすについて答えられるようにしよう！  
 生き物の冬ごし…アゲハ、サクラ、アジサイ、チューリップ ⇒ どのようなすがたで冬をのりこえるのかおぼえよう！  
 実験器具…ガスバーナーの使い方 ⇒ 火をつけるときの動作と火を消すときの動作をそれぞれおぼえよう！

たまご	よう虫 (1れい~4れい)	よう虫 (5れい)	前蛹 (ぜんよう)	さなぎ
黄色のたまご。ミカンやカラタチなどのかんきつ類の植物の葉にうみつけれられる。約5日ほどでふ化する。ふ化すると、よう虫はからをたべる。	うまれたばかりのよう虫。からだは茶色で鳥のふんににている。5れいになるまでだっ皮をくり返す。かんきつ類の葉を食べる。	よう虫の最後のすがた。緑色で、目玉のようなもようがある。よう虫のうちは、頭から黄色の角をだして、強いおいで敵 (てき) を追いはらう。	さなぎになる直前のすがた。さなぎになるじゅんびをする。からだを糸で固定して、からだの中のいらぬ水分を外に出す。	完全なさなぎのすがた。この中で成虫に変わっていく。秋にさなぎになったものは、このすがたで冬をこし、あたたかくなると羽化 (うか) する。
羽化 (うか)	サクラ	アジサイ	チューリップ	アサガオ
さなぎから1~2週間で成虫になること。成虫ははねのあるすがた。口がストローのようになっており、花のみつを吸う。	日本を代表する花。5まいのピンク色の花びらがとくちよつぼみのすがた (冬芽 (ふゆめ)) で冬をこし、あたたかくなると開花する。	低い木の花。つゆの時期にさく。緑の大きな葉をつける。冬の間は冬芽ですぐす。	日本人にもなじみの深いヨーロッパ原産のユリ科の植物。秋に球根を植えることで、春に花がさく。	夏のころにさくヒルガオ科の花。種子 (しゆし) で冬をこす。あたたかくなり、条件 (じょうけん) がそろうと発芽する。

## 実験器具 ガスバーナー

火をつけるときの順番⇒

★火をつけるとき

- ① 上下のねじとコック、元せんが閉まっていることを確認する。  
かくにん
- ② ガスの元せんを開き、コックを開く。
- ③ マッチに火をつけて、ガスバーナーの口に近づける。
- ④ マッチの火を口に近づけたまま、ガス調節ねじを少しずつ開いて点火する。  
ちようせつ てんか
- ⑤ ガス調節ねじを押さえて、空気調節ねじだけを少しずつ開く。  
ちようせつ ちようせつ
- ⑥ ほのおの色を青色にする。

★火を消すとき

- ① 空気調節ねじ⇒ガス調節ねじの順番に閉める。(ここでほのおが消える)  
ちようせつ ちようせつ じゆんぼん
- ② コック⇒元せんの順番に閉める。  
じゆんぼん